

3 学校運営協議会委員評価の結果

令和4年度は学校運営協議会を5回実施

第1回：令和4年4月13日（13名参加）

第2回：令和4年 6月29日（16名参加）

第3回：令和4年9月30日（14名参加）

第4回：令和4年12月13日（16名参加）

第5回：令和5年2月14日（14名参加）

学校関係者評価記入シートまとめ

4段階評価の集計

市内 共通	1	学校の教育目標の達成に向けて具体的な目標を設定し、校長を中心に組織的に学校運営や教育活動を行っているか。	3.7
	2	自己評価表を分析して具体的な改善方策を実施し、課題が改善されているか。	3.7
	3	教育活動や評価結果に関して、分かりやすく情報提供できているか。	3.7
	4	保護者、地域住民は、学校運営に積極的に参加・協力しているか。	2.9
	5	学校運営協議会は、適切に運営されているか。	3.6
学校 独自	6	校区の危険箇所の確認や児童の登下校の安全確保など、学校と保護者、地域が連携して、危機管理ができているか。	3.2
	7	児童の安全面や学習効果を考慮して、施設設備の整備ができているか。	3.5
	8	新型コロナウイルス感染症対策は適切であったか。	3.8

【具体的改善策等の提言】

- 教職員は、大変なときによく頑張ってくれていると感じる。
- 成果と課題がしっかり分析されており、改善に向けた目標がしっかり示されている。
- 校長のリーダーシップの下、新しい取組にチャレンジし、成果を上げている。
- 学校運営協議会の委員は、学校がどのように運営されているのか具体的に知らないことも多いと思うので、それを理解する場があればよいと思う。また、教職員が授業以外にどんな仕事をしているのかも知りたい。その結果、良い取組につながると思う。
- 学校運営協議会では、広い年齢層のメンバーが集まって各々の意見を出しているが、今の子どもたちが何を必要としているかを探ることも大切ではないだろうか。
- 学校運営協議会の運営に関する様々な意見がもっと欲しい。話し合う機会をもっと増やすとよい。
- 家庭への連絡や情報提供については、学校（学級）だよりやホームページ等で発信していると思うが、それらを効果的にリンクさせたり、知りたくなる情報を工夫したりして改善していくとよい。
- 「川之江が好き」という部分で工夫した取組をすることで、地域も巻き込み、連携することができるのではないか。
- 不登校や家庭トラブルが発生した場合、学校だけでは限界があるので、他機関への連携をもっと充実させるとよい。
- デジタル・シティズンシップ教育は、家庭との連携が重要であると感じている。家庭を巻き込んだ取組をするとよい。